

平成30年度 高冷地水稲生育速報(第3報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月3日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	56.0 (104%)	639 (116%)	3.5 (-0.9)	33.3 (-6.5)	10.2 (+0.1)
	前年	58.6	595	4.5	39.7	9.8
	平年	53.9	551	4.4	39.8	10.1
ひとめぼれ	本年	57.6 (122%)	750 (129%)	3.8 (-0.5)	37.2 (-2.5)	10.4 (+0.4)
	前年	48.4	699	4.4	38.8	9.0
	平年	47.4	581	4.3	39.7	10.0
たかやまもち	本年	56.0 (112%)	591 (116%)	3.5 (-0.9)	34.6 (-4.5)	10.3 (-0.2)
	前年	51.7	591	4.6	40.6	9.2
	平年	50.0	508	4.4	39.1	10.5
ひだほまれ	本年	57.9 (110%)	513 (119%)	3.0 (-1.0)	32.1 (-5.2)	10.7 (+0.2)
	前年	57.6	517	3.9	37.6	10.2
	平年	52.5	431	4.0	37.3	10.5
あきたこまち	本年	58.1 (120%)	584 (115%)	3.6	35.3 (-6.2)	10.0 (-0.2)
	前年	50.5	599	—	41.6	9.2
	平年	48.4	510	—	41.5	10.2

栽培条件：移植5月15日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

ただし、H25年度以前の栽植密度は 22.2株/m²、平成26年度は18.2株/m²、平成27年度は21.2株/m²

平年値：過去5年間(H25年～H29年)の平均値

()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

6月下旬の平均気温は平年よりやや高めであったが、最低気温はやや低めに推移した。日照時間は平年より多かった。

2) 生育概況

すべての品種で平年より草丈は高く、茎数は多い状況である。葉色はすべての品種で低下している。

3) 病虫害等の発生状況

イネドロオイムシの発生が見られるが個体数は少なく、被害は軽微である。

一部の品種で紋枯病が見られるが、こちらも発生は少ない。

4) 今後の管理

気象の影響により、生育量が多い状況であるが、葉色の低下が見られる。草丈は長めだが、分けつは多いため、籾数確保は容易と推測する。葉色が低下しているため、穂肥適期は早まる可能性がある。さらに、生育量と葉色から考えると、今後もこの状況が続くのであれば、稲が必要とする窒素成分が不足する可能性がある。

今後の天候に注意し、良好な天候が続くのであれば、白未熟等の発生増加を防ぐため穂肥施用量をやや増やすなど、工夫が必要であろう。